

令和3年度 第2回半田市地域公共交通会議事録

開催日時	令和3年12月28日(火)	14時20分～16時20分
開催場所	半田市役所 大会議室(4階)	
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ(会長)</p> <p>3. 協議・報告事項</p> <p>(1) 地区路線A及び地区路線Bの実績について</p> <p>(2) 地域公共交通確保維持改善に関する事業評価及び地域公共交通計画に関する評価並びに第三者評価委員会について</p> <p>(3) 地域間幹線事業評価票について</p> <p>(4) 光触媒を用いた抗菌・抗ウイルス対策の実施について</p> <p>(5) 地方創生臨時交付金を活用した公共交通事業維持継続支援事業について</p> <p>(6) おでかけ促進無料乗車キャンペーンについて</p> <p>(7) 地区路線Aの運賃改編(小学生無料化)について</p> <p>(8) 有脇タクシー施策の実施について</p> <p>4. その他</p>	
出席委員 【欠席委員】	<p>(会長)</p> <p>半田市副市長</p> <p>(委員)</p> <p>知多乗合株式会社代表取締役社長</p> <p>安全タクシー株式会社代表取締役社長</p> <p>愛知県タクシー協会知多支部長</p> <p>公益社団法人愛知県バス協会専務理事</p> <p>国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官</p> <p>名鉄知多タクシー労働組合執行委員長</p> <p>愛知県知多建設事務所維持管理課長(代理)</p> <p>愛知県半田警察署交通課長(代理)</p>	

	亀崎地区代表区長 乙川地区代表区長 半田地区代表区長 成岩地区代表区長 半田商工会議所専務理事 社会福祉法人半田市社会福祉協議会事務局長 半田市老人クラブ連合会会長 特定非営利活動法人半田市観光協会事務局長 市民公募委員 豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 准教授（座長） 半田市総務部長 半田市建設部長 半田市市民経済部長 半田市福祉部長 半田市議会議員 名古屋鉄道株式会社中部支配人 愛知県都市整備局交通対策課担当課長（代理）
事務局	防災監 柘植信彦 防災交通課 主査 間瀬勝信 主事 浅井隆之 事務員 中村公星
傍聴者	1名

次 第	議事概要
2. あいさつ	（会長あいさつ）
3. 協議・報告事項	（事務局） 資料 1 に基づき説明。

<p>(1) 地区路線 A 及び地区路線 B の実績について (報告)</p>	<p>(座長)</p> <p>地区路線 A と B に分けて、実績の説明があった。地区路線 A は、コロナ禍の影響でかなり落ちてしまったが、少しずつ戻ってきて状況も少し改善したと、今回のデータは令和 3 年も 9 月までなので、この 10 月 11 月というのは恐らく復調も続く中で、もうちょっと上ってきてるんじゃないかと思うが、一方でやっぱり、どうしても戻らない層というのがあると思う。</p> <p>それから、地区路線 B については、岩滑小線が目標である 30 人にかなり近づいている。この規模の路線は、大体伸びてくるのに、私のこれまでの経験でいうと、2 年ぐらいかかる。</p> <p>そのため、岩滑小線もまだ 1 年ぐらいで恐らくこれからもどんどん口コミで広がって行って、より伸びてくるだろうし、成岩線、瑞穂線もまだ目標の 30 人に比べると低い状況ではあるが、始めたての実績なので、これからのやり方次第で、十分可能性はあると考えている。</p> <p>実績について、何かご意見、ご質問があればお願いしたい。</p> <p>～意見・質疑なし～</p>
<p>(2) 地域公共交通確保維持改善に関する事業評価及び地域公共交通計画に関する評価並びに第三者評価委員会に</p>	<p>(事務局)</p> <p>資料 2 に基づき説明。</p> <p>(座長)</p> <p>何かご意見、ご質問があればお願いしたい。</p> <p>(半田市議会議員)</p> <p>5 ページの「事業の今後の改善点」の項目に、「地域の実情に合わせて定時定路線バス以外の移動手段について検討・導入」と記載があるが、市営 3 路線に関して現行のバス以外の方法について、すでに検討に</p>

<p>ついて（協議）</p>	<p>入っているのか、これから検討に入ることなのか、確認したい。</p> <p>（事務局）</p> <p>現行の3路線すべてを変更するという意図はなく、低調が続く場合の改善策として記載した。現時点で具体的に3路線を変えるということはない。誤解を招くので訂正する。また、改善手段についても、「路線バス以外の移動手段」と限定した表現となっているが、既存路線バスのダイヤや経路を変更するという改善策も考えられるので、合わせて訂正させていただく。</p> <p>（乙川地区代表区長）</p> <p>15ページのアンケート結果に関して、バス利用者の8割が40代以上であるため、若年層の利用促進を進めるということだが、もっと細かい年齢層別のデータはあるか。また、市営の3路線と知多バス2路線で特徴的な差、違いがあれば教えてほしい。</p> <p>（事務局）</p> <p>年齢層別の細かいデータは、手元にはないが情報として保有はしているので、必要であれば別途ご用意させていただく。市営3路線と知多バス2路線の違いは、年齢層では概ね似たような傾向となっているが、移動目的の点で知多バスは通勤・通学利用が多い。これは知多バス路線の方が広域移動であることに起因していると考えている。</p> <p>（成岩地区代表区長）</p> <p>成岩地区は、路線Bということで、今年の9月から始まった。私も、バス会のメンバーの1人として、立ち上げに携わった。買物にも、病院に行くにも良いということで、地域の皆様からは、非常に喜ばれている。一方で、バスはシルバーの車体にマグネットを貼って運行しているが、これが非常に目立たず、その点へのお声も頻繁にいただく。始まって3、4か月で目標もまだまだ達成しない中で、要望ということはおかしいんだが、早いうちに目標は達成していきたいと考えているので、その際は誰が見ても分かるようなラッピングの実施をお願いしたい。</p>
----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(事務局)

ラッピングの件は、他の地区のバス会からも、要望をいただいている。ある程度利用が定着して、長年やっていけるとなった段階ではラッピングをしたいと考えている。もう少し乗っていただいて目標を達成できればラッピングもできるかと思うので、周知など利用促進を一緒をお願いしたい。

(座長)

今日、知多半田からバスで来たが、新しいバス停が二つ出来ていて、始まったんだなという実感を得た。先ほど申し上げたように、だんだんと利用者が増えていって口コミで広がったり、地域によってはバスの具体的な利用方法をローカルの新聞みたいな形で回覧をして、利用者を増やしていくというようなことも結構あるので、ぜひ引き続き、広報していただければと思う。また、今の目標の点も、必ずしも 30 人というわけではないんだけど、おっしゃるとおり、車両がシルバーでマグネットだとやっぱり福祉車両みたいに見えてしまって、これ、乗れないんじゃないかとか、そういうこともあって、やっぱり派手にこう、公共交通であるってことがすぐ分かるようにすると、その点のハードルも少し下がるというようなことも聞いているので、ぜひ検討していただければと思う。

それから先ほどの年齢層に関連して、コミュニティバスだと高齢者の方に向けたイベントを行うことが多いが、若い方向けにイオン半田で利用促進の催しを行ったということは目のつけどころが良いなと感じた。

様々な層に向けて、そこに合った広報の仕方をしていただけると非常に良いかなと感じた。

(半田市議会議員)

既存路線の見直しに関して、亀崎・有脇線は一度経路の変更を行っており、現状は路線の 3 分の 1 くらいは乙川を走っているので、次の改善の際には亀崎だけでなく、上池から平地にかけての乙川地区の移動の確保も視野に入れなければならないと思うが、この点についてはどうか。

(事務局)

	<p>ご指摘のとおりで、現状は乙川も深く関わっているので、改善の方策に対するご意見は関係している地区からは頂戴し、反映していきたい。</p> <p>(半田市議会議員)</p> <p>低調ではあるが、一方で大きな減少もなく、亀崎・有脇・乙川で利用されている路線ではあるので、そういった認識を持って進めていただきたい。</p> <p>(座長)</p> <p>移動手段の変更もそうだし、時刻表などの変更についても、関連する地区にはしっかりと意見収集して進めていっていただきたいと思う。</p> <p>それでは、お諮りする。細かい文章表現の修正は1月10日ぐらいまでは間に合うということなので、指摘がある場合は事務局にお寄せいただき、この場では全体の方向性について承認いただければと思う。承認いただける場合は拍手をお願いしたい。</p> <p>～拍手多数～</p>
<p>(3) 地域間幹線事業評価票について(報告)</p>	<p>(事務局)</p> <p>資料3に基づき説明。</p> <p>(座長)</p> <p>何かご意見、ご質疑があればお願いしたい。</p> <p>(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官)</p> <p>補足する。地域間幹線は県のバス対策協議会での協議案件となり、ここでは報告事項として扱われているが、市内のバス路線は地域間幹線に接続することで補助対象になるという意味でも、地域間幹線の利用促進などについて、こういった場で話し合っただけでも大事なと考えている。書類の書きぶりに対する議論に留めずに、利用の促進に向けて知恵を出し合う機会としても活用いただければと思う。</p>

	<p>(愛知県都市整備局交通対策課担当課長 (代理) )</p> <p>資料 23 ページの武豊町の赤ルート線について、平均乗車密度、輸送量が入っていないので、補足する。</p> <p>平均乗車密度は 1.9、運送量実績が 16.7、収支率が 9.4。</p> <p>基準は超えているが、今後注視していく必要があるかと考えている。</p>
<p>(4) 光触媒を用いた抗菌・抗ウイルス対策の実施について (報告)</p>	<p>(事務局) ※資料は無し</p> <p>昨年度実施した光触媒による抗菌・抗ウイルス対策について、持続期間が概ね 1 年となっているため、今年度についても引き続き実施した。</p> <p>(座長)</p> <p>何かご意見、ご質疑があればお願いしたい。</p> <p>～意見・質疑なし～</p>
<p>(5) 地方創生臨時交付金を活用した公共交通事業維持継続支援事業について (報告)</p>	<p>(事務局)</p> <p>資料 4 に基づき説明。</p> <p>(座長)</p> <p>何かご意見、ご質疑があればお願いしたい。</p> <p>(公益社団法人愛知県バス協会専務理事)</p> <p>この地方創生臨時交付金については、バス協会としても愛知県に何回か要望活動を行っており、県から助成金を事業者にいただいているが、各自治体からバス、タクシー事業者に対する助成というのは県外と比べると非常に少ない状況。こうしたなかで、半田市がこのように支援したということについて、感謝している。</p> <p>また、できれば貸切バスについても、災害とか事故があった場合の振替輸送であったり、あるいはコロナウイルス蔓延防止の面でも、空港からホテ</p>

	<p>ルまでの輸送であったり、そうした公共的な役割も担っているところなので、そちらへの支援も是非御検討願いたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>本日の資料でお示しせずに申し訳ない。実は、貸切バスについても観光部局と足並みを揃えて、同時に実施している。</p> <p>(愛知県タクシー協会知多支部長)</p> <p>支援事業に対して感謝する。</p> <p>タクシー事業者も飲食店の営業時間の短縮に伴って、深夜営業が出来なくなっており、売上の多かった時間帯でもあるので疲弊していた。運転手が離れてしまうと、今度は供給することが出来なくなってしまう。そういった窮状をよく見ていて、助けていただけてありがたく思っている。我々もできる限りのことをさせていただく。</p> <p>(座長)</p> <p>先ほど話のあった貸切りバスについては、豊橋だとワクチン接種の会場までの輸送を貸切バスでやるというような形でこの交付金をうまく使っている。</p> <p>国の補助金関係も用途に制約はあるが、使い方次第というところがある。もし公共交通事業者が地域にいなくなってしまうたら、それこそもう何も出来なくなってしまうので、少しでもそういう形で、事業継続のサポートができるというのは非常に重要なことではないかと考えている。</p>
<p>(6) おでかけ促進無料乗車キャンペーンについて (協議)</p>	<p>(事務局)</p> <p>資料5に基づき説明。</p> <p>(座長)</p> <p>本案は、実施のタイミングが非常に難しいと思うので、現時点では開始時期を決めずに、まずは、こういった無料のキャンペーンを1か月行うところを承認していただいて、後日、日程が決まったら、改めて書面協</p>

議をさせていただくということになるかと思う。

それでは本案について御意見御質問等あればお願いしたい。

(半田市議会議員)

無料乗車キャンペーンということで、100 円の運賃が無料になるということだが、100 円を理由にバスに乗らない方っていうのは、それほど多くないと思う。私が地元で聞いている声としては、やっぱりバスの本数の少なさ、日中しか運行しないバスの現状、片回りしか走らないバス、など様々な要因、課題がある。現状、そうした盛りだくさんの課題がある中で、この100 円が高いからとか、100 円を理由にバスに乗らないという声は正直ほとんど聞かない。これをやったから、何か起爆剤になるとか、現状の例えばバスの乗車人員が倍になるとか、そういったことっていうのはあまり期待出来ないと思うが、そういう中でこれを企画した意図をもう少し詳しく教えてほしい。

(事務局)

もともとバスの存在を完全に認知していて、移動の選択肢に入っている方からすると、委員のご指摘のとおりだと思う。企画意図は、無料というふうに銘打つことで、恐らくニュースソースとして扱われるのではないかと、そして新聞等で世に出ると、バスへの関心が高くなかった層の意識に入る機会になると思う。そこで無料なら乗ってみるか、と多少関心が高まることを期待している。また、試しに乗ってみるかという具合に、心理的ハードルを下げるのが、すごく大事じゃないかと、バス会でもそういった議論が出ていた。普段路線バスを利用しない人にとって、初めての乗車に向けて何が1 番心理的障壁になるかという点、乗り方がよくわからない点。では、どうしたら良いかと考えたときに、乗るきっかけを作って、誰かと一緒に乗車する方向に誘導することが大事だとの結論に至った。

そこで、期間限定で無料という動機をつくれれば、無料だから一度乗ってみようかという話の流れになり、1 回目の乗車に繋がるかもしれない、こう

	<p>いったわけで今回この企画を提案させていただいた。</p> <p>(半田市議会議員)</p> <p>承知した。柔軟な発想だと思うので、ぜひとも、この企画を成功していただきたい。決して企画を否定しているわけではなく、ちょっと意図を確認したかったということと、諸課題はたくさんあるということも、お伝えしたかった。</p> <p>(座長)</p> <p>これをやったから全てうまくいくというわけではなくて、色々な運行方法の検討もやっていく中で広報手段の一つとしてやるということだと思う。ただ、無料化だけではなくて、例えば、それに合わせて、路線沿いの商業施設と連携して特売をするといった具合で、目的とセットでうまく連動させると、より効果が高まるのではないかと思う。</p> <p>まだ日程等決まってないということで、時間もあると思うので、そういったところも検討いただければと思う。</p> <p>(成岩地区代表区長)</p> <p>生の声をちよくちよく聞くなかで、何割と言うのは分からないが、リピート客が多いというのが実感。新しい方に乗っていただく機会を作るという意味では、無料キャンペーンっていうのは、本当にきっかけになるかなと感じる。</p> <p>(座長)</p> <p>時期は、後ほど書面協議をするということで、実施することについて承認をいただきたいと思う。挙手の方が意思表示しやすいと思うので、拍手から挙手に変更する。御承認いただける方は挙手を。</p> <p>～全員挙手～</p>
<p>(7) 地区 路線 A の運 賃改編 (小 学 生 無 料 化) について</p>	<p>(事務局)</p> <p>資料 6 に基づき説明。</p> <p>(座長)</p>

<p>(協議)</p>	<p>本案も先ほどの無料キャンペーンと同様に実施をお諮りし、現時点で決めることが難しい日程については、後日改めて書面協議をさせていただくということになるかと思う。</p> <p>小学生の早期利用という点と、市営路線間の小学生運賃の公平化という両面から良い策と思う。合わせてどれくらい周知できるかというのが非常に重要と思う。対象地区の学校などに協力いただきながらチラシを配布するとか、インパクトがある内容なので、そこをうまく活用して、進めていっていただけると良いかと思う。</p> <p>それでは本案について御意見御質問等あればお願いしたい。</p> <p>(知多乗合株式会社代表取締役社長)</p> <p>先ほどの1か月無料キャンペーンや本案の小学生運賃無料化について、交通事業者として、運用の切り替えなど円滑に進むようきちんと対応させていただく。</p> <p>(座長)</p> <p>時期については後日、書面協議をさせていただくという形で進めるようにしたいと思う。では、本案の実施について承認いただける方は挙手をお願いしたい。</p> <p>～全員挙手～</p>
<p>(8) 有脇 タクシー施策 の実施について</p>	<p>(事務局)</p> <p>資料7に基づき説明。</p> <p>(座長)</p> <p>それでは本案について御意見御質問等あればお願いしたい。</p> <p>(半田市議会議員)</p> <p>確認だが、小学校区から目的地に行けるというのは理解したが、帰りはどうなるのか。</p>

(事務局)

目的地から自宅への移動も利用できる。

(半田市議会議員)

もう1点、緑ヶ丘住宅への乗り入れはどう考えているか。バス路線が走っている緑ヶ丘住宅に関して、タクシー制度への切り替えを考えているのか、タクシー制度を導入しても緑ヶ丘住宅への乗り入れは継続させるのか。

(事務局)

仮にタクシー制度を導入しても、即座に乗り入れを廃止する考えはない。緑ヶ丘住宅への乗り入れをどうするかという話は、亀崎・有脇線全体をどうしていくかという話のなかで議論することだと捉えている。

(座長)

利用方法の詳細について、利用者目線で説明願いたい。

(事務局)

事前に市役所に申請して利用者登録をしていただく。現在、調整中だが、申請先は市役所だけでなく、有脇であればふれあいセンターなど地域内でも受付できるようにする予定。申請をいただいたら市役所から登録証と精算用チケットを郵送する。事前準備はこれで完了。あとは通常と同様にタクシー会社に電話予約してもらうが、その際に「(仮称) お出かけタクシー」としての予約であることは伝えていただく。精算チケットには事前に氏名などを記入していただき、タクシーから降りる際に利用料金と一緒に運転手に渡していただく。

(乙川地区代表区長)

先行事例として、西尾市の取組に倣ってということだが、西尾市での成果や、現在どのような課題に直面してるかということについて、もし分かれば教えてほしい。また、その課題に対して、半田市が導入するに当たってどのように対応するのか、合わせて伺いたい。

(事務局)

西尾市は地域によって交通事情が異なり、導入されている交通手段もそれぞれだが、今回のタクシーの取組が、幾つかの地域ではデマンドバスや路線バスに代わる交通手段として定着した点は成果と言える。その過程のこととして、当初は利用できる行先の数をかなり絞っており、その結果、想定よりも利用が大分少なかったということであったので、本市では行先を絞り過ぎないように留意した。とはいえ、当初は西尾市でも財源的に持続できるかという懸念があつたことなので、バランスは保ちながら進めていく。

(座長)

補足させていただく。実は、私は西尾市の公共交通会議も務めている。事務局から説明があつたように当初は利用が少なかったが、目的地を増やしたり、民生委員に周知の協力をしてもらうなかで、年間10%程度ずつ利用が増えている。ただ、西尾市では鉄道の存続も課題になっており、タクシーを便利にし過ぎて鉄道利用者を取ってしまう形になってはいけないということで、既存の公共交通手段とバランスを取るという点が非常に重要だったため、最初は小さくはじめた。今はバランスの良いところに来ている。それを今回半田市が参考にしながら、目的地設定には大分悩まれているようだが、進めているというところ。1つ、気を付けなければいけないこととして、地域のタクシー会社にも対応上限があるので、供給側の限界も考慮に入れて、様子を見ながら少しずつ進めるとよい。

(社会福祉法人半田市社会福祉協議会事務局長)

地域の困り事を解決するために、亀崎地区の支え合い計画という、計画策定のためにアンケートを実施している。その中で、有脇地区は買物に困るという声は上がってきていて、その理由として、近くにお店がないとか、医療機関もない、公共交通機関がない、などアンケートから出ている。そういった中で、今回タクシーということで、私どもの職員も地元に入っているのですが、そういう声も伺うことがあって、やはり買い物という、アオキスーパーに行きたいとの要望が強い。資料では、アオキスーパーへの目的

地設定が△になっているが、近くにバス停があると言っても、そのバス停に行くには、絶対どこかのバス停までタクシーで行かなくてはならないことになるし、タクシーに乗ってバスに乗り継いで行くということで、時間もたくさんかかる。今回△を目的地に入れようかどうか事務局も迷っていたと思うが、それも含めて実験だからやっ払いこう、という事務局案で、良いと思う。地域の声としては、アオキスーパーとか東浦の駅に行きたいっていう声もたくさん上がってるし、この3kmの中で300円ということの実証実験、これで経過を見るということで、多分いいと思う。

(会長)

副市長という立場からお話をさせていただくと、今半田市では地域振興券事業、市民1人当たり2万円を支給しており、地域経済の活性化に向け、消費を促す取り組みを行っている。そうした中で、目的地の候補として、例えばスギ薬局でも東浦南店と上池店と両方ある。クリニックや歯医者のようにかかりつけがあるなど特殊要因が考えられるものまでは求めないが、食料品や薬局など市内で供給可能なものについては、市内の店舗に行っていただくように、目的地の一部見直しを検討してほしい。

(事務局)

地元バス会に理解を求めていく。

(愛知県タクシー協会知多支部長)

今回利用時間の部分など、制度内容はタクシー事業者に配慮していただいで感謝する。早朝や夕方以降の混み合う時間帯を避けてもらっており、供給しやすい時間帯になるので、可能な限り協力させていただく。

(座長)

予約する時に「おでかけタクシー」の利用だと伝えるという運用だった

	<p>が、例えば、利用者が希望する目的地が「おでかけタクシー」の目的地と近い場合は、仮におでかけタクシーとの申し出がなくても、タクシー事業者側からおでかけタクシーという制度の目的地に近いからそちらを利用してはどうか、といった促しをしていただくと非常に助かる。最初の頃は利用の仕方も浸透していないので、可能な範囲で対応していただくと良いんじゃないかなと思う。</p> <p>(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官)</p> <p>最近はお企画のようにタクシーを使った実証実験の取組をぼちぼち見かける。高齢化の進展もあり、お出かけを促す最初の1歩という意味合いもあるように見受けられる。半田市の場合は、地域ごとのバス会組織があり、バスの導入も頑張っている中で、タクシーの企画との併存を実現するためのバランス調整はなかなか難しい地域なのかなと思う。そのため、今回の企画ももとの出発点、狙いや意図するところというのを大事にして実証実験に取り組んでいただければと思う。</p> <p>(座長)</p> <p>令和4年の2月、来年の2月から実施を進めていくということで、先ほどの目的、基本的な運行、運賃だとかその辺りは、提案通りで、目的地についてはまだ三角の部分、どちらに決定するかわからないところはあるが、それは今後の地元バス会との協議をして決めていただくということで、この実証実験自体を実施するという点を、本日御承認いただければと思う。御承認いただける方は挙手を。</p> <p>～全員挙手～</p>
<p>4. その他 (情報交換等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官 公共交通利用促進、バス付近の交通安全向上の啓発についてチラシに基づき説明。</li> <li>・成岩地区代表区長 半田・常滑線バス停の掲示物の劣化について更新するよう要望。</li> <li>・安全タクシー株式会社代表取締役社長</li> </ul>

駅前の自社待機場を活用し、キッチンカーなどを誘致し賑わい創出を図る安全タクシーコミュニティランド事業について、資料に基づき説明。

・愛知県都市整備局交通対策課担当課長（代理）

スマホアプリを活用した公共交通利用促進の取組、エコモビリティライフの普及啓発に関する講演会の開催について、チラシに基づき説明。

～終了～